



重点課題の検討

後期基本計画の策定に向けて行われた市民意識調査(平成22年度実施)では、前期基本計画の取り組み状況に対して9つの重点課題が挙げられました。

今回の会議では、この9つの重点課題について、問題点の具体的な掘り下げと、それらの改善策について検討しました。

※重点課題とは、市の取り組みのうち、重要度が高いのに満足度が低い取り組みテーマのことをいいます。

9つの重点課題

- ・高齢者が生きがいをもって暮らすことができるまち
- ・安心して医療を受けることができるまち
- ・積雪にすばやく対応できるまち
- ・商業に活気のあるまち
- ・工業に活気のあるまち
- ・魅力ある労働環境を提供できるまち
- ・農業を育成するまち
- ・公共交通機関が利用しやすいまち
- ・税金が効率的に使われているまち

問題点の掘り下げと、改善策のアイデア

まず初めに、各委員からあらかじめ考えてきてもらった「問題点と改善策の組合せカード」を9つの重点課題ごとに分類し、それぞれの具体的な内容について意見交換を行いました。

話し合いは今回も前回同様に2つの班で行い、その結果の概要はうら面のとおりです。



会場の様子



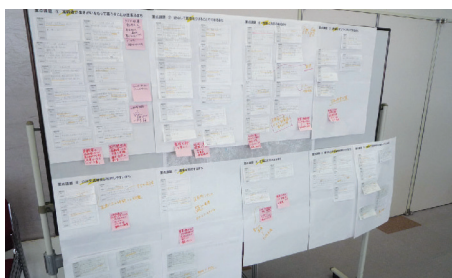
A班グループ討議



B班グループ討議



各班の成果確認



A班の意見



B班の意見

まちづくり会議全体のながれ

- 前半 第1回(9月)
新市誕生から5年間のまちづくりをふりかえって
- 第2・3回(10月)
重点課題を改善する方法について
- 後半 第4・5回(12月)
後期基本計画への意見反映について

第2回会議のながれ

日時:平成23年10月13日(木)13:30~15:30

場所:五泉市福祉会館3階大会議室

- 13:30 開会挨拶
- 13:35 前回のふりかえり、重点課題に該当するこれまでの施策(説明)
- 13:50 意見交換
~まちづくりの問題点を改善する方法について~
- 15:30 発表・まとめ、閉会

班	カテゴリ	問題点	改善方法
A 班	①高齢者が生きがいをもって暮らすことができるまち	高齢者の社会参加やボランティアのあり方が不明確 高齢者（特に男性）が参加しやすい場・機会が少ない	・具体的な社会参加の仕組みづくり ・ボランティア育成のためのコーディネーターの養成 ・男性高齢者向け会合の企画 ・高齢者の能力を活かした講座開設
	②安心して医療をうけることができるまち	診療科目の不足・不備 医療体制の不足・不備	・少子化対策としても早急に産科の開院を ・救命救急士の人材育成 ・市内開業医等による医療の充実
	③積雪にすばやく対応できるまち	除雪体制の不足・不備（空き家も含） 弱者世帯の除雪対策の不備	・町内での除雪体制づくりと支援の強化 ・自主防災組織の活用
	④商業に活気のあるまち	商店街に魅力・賑わいが無い 旧ジャスコ跡地問題	・商工会青年部への支援強化 ・ニート産業や農業との連携 ・歩行者天国による市民参加の賑わいづくり ・公園、コミュニティ施設、福祉施設等として利用
	⑤工業に活気のあるまち	企業誘致が進まない 工業への事業支援の不足	・立地メリットの明確化 ・事業支援の強化 ・新たな産業の育成・支援
	⑥魅力ある労働環境を提供できるまち	市内に雇用場が少ない 労働環境に魅力がない	・地元業種間の連携による自立の強化 ・アクセス道路の整備や高速道路ＩＣ開設 ・若年層の起業支援（空店舗活用、ＵＪＩターン推進）
	⑦農業を育成するまち	販売力が弱い 経営の弱体化と担い手不足	・加工品の開発による販売力の強化 ・農産物を活かした観光施設の整備
	⑧公共交通機関が利用しやすいまち	駅周辺の利便性が悪い ふれあいバスの利便性が悪い	・駅周辺の整備（駅の出入り口、駐車場等） ・現状（利用状況）による利便性の再検討
	⑨税金が効率的に使われているまち	業務の非効率性・サービス不十分 税金・補助金の使途不明確	・ＩＴ活用による業務の効率化の推進 ・市民への情報公開・サービス・接遇の向上 ・外部組織による評価・検証
B 班	①高齢者が生きがいをもって暮らすことができるまち	高齢者の社会参加やボランティアのあり方が不明確 高齢者が参加しやすい場・機会が少ない 体力の低下に伴う支援の不足・不備	・有償ボランティア化 ・高齢者の雇用促進 ・学習・活動ニーズに合わせたメニューや施設の充実 ・歩道のバリアフリー整備等
	②安心して医療をうけることができるまち	医療・保健体制の不足・不備 生活保護体制が不明確	・地域医療体制の充実 ・生活保護者の自立促進、ボランティアの養成
	③積雪にすばやく対応できるまち	除雪体制の不足・不備 弱者世帯の除雪対策の不備	・地域間格差の解消 ・除雪から融雪へ（地熱利用等） ・地区防災委員の活用
	④商業に活気のあるまち	商店街に魅力・賑わいが無い 空き店舗、空き地の増加	・市民が利用できるスペースの整備 ・五泉の特徴を活かした商店街づくり ・起業支援（起業の場、講座開設等） ・バス停留所、休憩所、高齢者向け販売店の設置
	⑤工業に活気のあるまち	企業誘致が進まない 地場産業の弱体化	・水に特化した産業おこし、アイデアの募集 ・大学等との連携による高付加価値化
	⑥魅力ある労働環境を提供できるまち	女性に不利な就業環境 若者の働く場が少ない	・女性向けトライアル雇用の推進 ・学校や企業、市との連携による雇用促進
	⑦農業を育成するまち	魅力不足、ＰＲ不足 経営の弱体化と担い手不足 森林資源の活用・管理の不備・不足	・ブランド農産物のＰＲの強化 ・農業への興味促進、気軽な就労支援 ・農業法人として大規模化 ・廃材の有効利用（ペレット、堆肥等） ・森林整備・維持管理への支援
	⑧公共交通機関が利用しやすいまち	高齢者のバス利便性が悪い 利用者の減少	・利用状況の把握による効率的・柔軟な対応 ・観光との連携（キャラクターバスの運行等）
	⑨税金が効率的に使われているまち	非効率性・サービス不十分 税金・補助金の使途不明確	・五泉ならではのサービス体制づくり ・各課における専門的立場からの工夫

話し合いの結果から

全部で147件もの意見が寄せられました。

問題点の中には、日常生活の身近なものから市民全体の将来を見据えたものまで、幅広い内容が挙げられました。

改善方法についても、喫緊に改善が可能なものから腰を据えてじっくり取り組む必要があるものまで、また斬新ながらも実現性の高いアイデアも出されました。

次回に向けて

今回の協議結果を全員で確認・共有し、必要に応じて補足などの意見交換を行います。

また、改善にあたっての重要度（優先性）や、役割分担（市民・事業者・行政）などを検討する予定です。

次回の会議：10月26日（水）13:30～
五泉市福祉会館3階大会議室